

肺移植例における非結核性抗酸菌症とアスペルギルス症の検討

1. 研究の対象

本研究の対象となるのは、2000年1月～2015年12月までに当院（共同研究施設8施設）にて肺移植を受けた方。

2. 研究目的・方法

肺移植は呼吸不全に対する効果的な治療法の一つとして、日本でも定着しつつあります。肺移植を受けられる方の中で、非結核性抗酸菌症や肺アスペルギルス症などの慢性的な肺感染症に罹患される方が、ある一定の割合でおられます。しかしその頻度や転帰（治療効果など）は日本では報告されていません。この研究では、これまでに肺移植を受けられた方々の、肺移植前後の非結核性抗酸菌症と肺アスペルギルス症の頻度と転帰を、すでに得られている診療情報から検討することを目的としています。この研究は当院だけでなく、全国の肺移植施設（東北大学、独協医大、千葉大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、福岡大学、長崎大学）の症例を合わせて検討する予定にしています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

肺移植を受けられた方の中で、術前、術後の時期を問わず、国際的診断基準より、非結核性抗酸菌症と診断された方、ガイドラインから肺アスペルギルス症と診断された方の臨床情報（菌の種類、画像、治療内容、治療効果など）を調査します。それらを基にして、発症頻度と治療内容・効果を検討します。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンター（近畿中央胸部疾患センター）へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究を実施する共同研究者・研究機関は以下の通りです。

研究代表者：

林 清二 近畿中央胸部疾患センター院長/中央肺移植適応検討委員会委員長

研究事務局：

橘 和延 近畿中央胸部疾患センター 教育研修部長

共同研究者：

伊達洋至 京都大学呼吸器外科 教授

大藤剛宏 岡山大学臓器移植医療センター 教授

吉野一郎 千葉大学呼吸器病態外科 教授

白石武史 福岡大学呼吸器・内分泌・呼吸器外科 准教授

千田雅之 独協医科大学呼吸器外科 主任教授

永安 武 長崎大学腫瘍外科 教授

奥村明之進 大阪大学呼吸器外科 教授

岡田克典 東北大学加齢医学研究所呼吸器外科 教授

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 (L5)

大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学

新谷 康

電話 06-6879-3152 Fax 06-6879-3164

当院での研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学 奥村明之進

研究代表者：

近畿中央胸部疾患センター院長/中央肺移植適応検討委員会委員長 林 清二